

北九州市新成長戦略 工程表 チェックシート

目次

方向性Ⅰ	地域企業が元気に活動し続ける環境整備	1
方向性Ⅱ	高付加価値ものづくりクラスター形成	4
方向性Ⅲ	国内潜在需要に対応したサービス産業の振興	6
方向性Ⅳ	グローバル需要を取り込む海外ビジネス拠点の形成	8
方向性Ⅴ	地域エネルギー拠点の形成	9

※ 北九州市新成長戦略工程表に基づく平成25年度の取組・成果・課題を整理したもの

参考資料

方向性 I 地域企業が元気に活動し続ける環境整備 その1

方向性 I の雇用創出実績: 381人

リーディングプロジェクト	プロジェクトの柱	H25年度の取組	成果	課題	H27年度までの目標 (工程表作成時点)
地域企業のビジネス展開を推進する組織横断的な体制整備	地元企業の課題やニーズを把握し、市役所横断的に解決できる体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業支援本部の開催<計6回> ①工場増設に伴う緑地の確保 ②地元企業が活用しやすいインフラ ③地元製品街かどショールーム事業 ④公共工事や物品等供給契約における地元製品利活用 ⑤地元製紙会社を活用した機密古紙リサイクル推進 ⑥東九州自動車道開通に伴う物流用地確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業支援本部個別会議により、一定の方針を結論付け →敷地外緑地などの複数のメニューを当該企業に提示 →立地企業の操業支援に寄与 →地元銀行での街かどショールーム事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に解決していく課題も多く、適宜、ワーキング会議を開催するなど、進捗の管理が必要 ・これまで議論した案件は概ね企業立地支援課から付議されたものであり、他局や他課から広く候補となる案件を集約する仕組みが必要 	*雇用創出45人
	市内企業団体との交流を通じた企業ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・路談会の開催<企業視察 2回> ・いちい会 企業視察等 ・テクノミクス北九州<毎月開催> ・立地企業情報交換会(63社/108人参加) ・企業立地支援課担当企業225社への定期訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出(小計) 3人 ・本市と地元企業との関係強化 ・地元企業相互の連携強化 ・いちい会会員企業の新規雇用3人 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業の設備投資や雇用拡大情報について、細かくフォローする体制が必要 	*雇用創出90人
中小企業の競争力向上	中小企業の経営支援	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓支援(大規模展示会等への出展支援、新商品開発等) ・中小企業融資及び窓口相談(融資制度改正、金融機関との協議等) ・建設業支援 →収益力向上や新事業展開を支援するため専門家派遣(派遣企業数12社) →新事業展開にかかる経費の一部助成 →新分野進出などの事例を紹介する等のセミナー実施(4回開催、116名) ・中小企業へのロボット導入支援 ・サービス産業の生産性向上に向けたセミナー実施及び人材育成、市内サービス産業事業者間のマッチングの場の提供 ・新技術・新製品開発助成 ・中小企業支援センターにおける窓口相談、専門家派遣、創業支援及びビジネスプランコンテスト開催 ・デザイン力強化のための取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出数(小計) 210人<うち再掲 33人> ・販路開拓支援(雇用創出数:87人) <ul style="list-style-type: none"> →展示会等への出展支援(商談件数1,257件、内成約件数29件) →滋味五州ブランドでの新商品開発等(参加企業7社) ・中小企業融資及び窓口相談(雇用創出数:101人) ・建設業の新事業展開支援(雇用創出数:3人) →建設業助成金を活用し、3件の事業化に成功 ・ロボット導入企業 3社 ・ロボット産業に参入する企業での雇用創出(2人) ・市内サービス事業者へのマッチングの場の提供 ・新製品開発等による雇用創出(15人) ・ビジネスプランコンテスト等での事業化 4件、雇用創出2人 ・グッドデザイン賞受賞企業を2社輩出 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援対象企業のニーズの把握 ・各種中小企業支援施策の効率的運営 ・建設業界での慢性的な人材不足 ・開発～実証～導入まで一貫した支援体制の構築 ・ニーズとシーズのマッチング強化 ・サービス事業者経営者のネットワークや支援機関ネットワークの早期構築 ・安定的な販路の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出325人 *助成金を活用した事業化件数6件 *企業投資額 2.7億円 *製品化・実用化9件 *事業化件数15件 *グッドデザイン賞受賞企業9社
	地域商業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街空き店舗活用補助の拡充 ・次世代を担う商業リーダーの育成のための講演会開催 ・実践あきない塾開催 ・戦略的地域商業活性化支援事業等による連携の実践 ・「赤ちゃんの駅」登録事業、「わらべの日」事業 ・きたきゅう健康づくり応援店事業 ・LED等省エネ照明設備設置補助 ・イベント開催補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出(小計) 20人 ・商店街への新規出店8件、雇用創出20人 ・次世代を担う商業リーダーの育成のための講演会1回開催参加者45人 ・実践あきない塾受講者:107人 ・「赤ちゃんの駅」登録 353施設、「わらべの日」協力 302店・施設 ・きたきゅう健康づくり応援店登録店舗 565店 →応援店フェア参加者 1,194人 ・LED等省エネ照明設備補助 4件 ・イベント開催補助 19件(市の制度活用:2件 国の制度活用:17件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援のあり方の研究 ・市内商店街の若手事業者の掘り起こし ・ニーズにあったセミナーの研究 ・大学等と協働する商店街の理解と協力体制 ・「赤ちゃんの駅」、「わらべの日」協力店舗、きたきゅう健康づくり応援店等の登録施設数の拡大及び登録内容の充実 ・国や県の補助制度の活用による、より効果的な事業実施の支援 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出48人 *新規出店15件 *新規事業化3件 *受講者300人 *「赤ちゃんの駅」登録等施設数の拡大 *きたきゅう健康づくり登録店数300店 *制度活用件数15件
	ベンチャー企業の創出・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・インキュベーション施設の管理・運営 ・インキュベーションマネージャー配置による支援 ・ベンチャー育成補助金 ・マーケティング調査 ・北九州未来ビジネスプランコンテスト開催・事業化支援 ・北九州ベンチャーイノベーションクラブ運営支援、展示会出展助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出(小計) 70人<うち再掲 9人> ・支援企業の売上高増加率:48% ・インキュベーション施設卒業企業数2社 ・ベンチャー総合支援事業 新規雇用 63人 ・ベンチャー企業経営強化事業(起業支援型地域雇用創造事業) 新規雇用7人 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業拡大に関する事業者の支援ニーズ把握 ・安定的な販路の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出30人 *卒業企業数9社
地元製品・サービスの利活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関と連携した、地元製品「街かどショールーム」開設 ・地元企業支援本部会議での協議 ・地元製品活用に向けたPRの方向性の検討 ・北九州エコプレミアム産業創造事業 ・トライアル発注制度の対象商品の市役所導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・「街かどショールーム」で地元企業7社の製品を展示・認知度向上 ・北九州エコプレミアム 181件を認定 ・トライアル発注製品 市内保育所(4室)に導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的なPR ・エコプレミアム対象製品の掘り起こし ・販路拡大に対する支援策 ・販路拡大・売上増を雇用創出につなげる支援策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出7人 *エコプレミアム選定件数延べ200件 	

方向性Ⅰ 地域企業が元気に活動し続ける環境整備 その2

リーディングプロジェクト	プロジェクトの柱	H25年度の取組	成果	課題	H27年度までの目標 (工程表作成時点)
地元企業の高度化・新製品開発支援	研究開発・事業化支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> 産学連携フェア開催(来場者:約8,000人、展示42団体等) 中小企業産学官連携研究開発事業 産学連携研究開発事業 知的財産の活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出(小計) 26人<うち再掲 6人> 技術相談等につながった件数:110件 新たな研究開発に取り組む企業支援数 83件 <ul style="list-style-type: none"> →国プロ申請支援 26社 →経産省ものづくり補助金申請支援 35社 →FAIS助成事業採択案件 16社 知的財産の活用 事業化支援件数 14件 新規雇用26人 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的・効果的な研究開発・事業化支援ができる仕組み作り 製品ニーズの多様化、従業員の高齢化、多品種少量、多能工化等への対応 持続して製品化する人材、資本力等の総合力 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出70人 *交流事業から技術相談につながった件数135件 *新たな研究開発に取り組む企業支援93社 *研究開発による新たな事業展開22社 *学研産VBの創出3件 *成長分野の新規参入支援9件 *事業化支援件数45件
	学術・研究基盤整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> アジアの大学・研究機関との共同研究、交流促進 留学生等ネットワークの活用推進 留学生宿舍管理運営事業 国内の大学・大学院等、研究機関、試作・評価機関等の誘致促進、海外の大学、研究機関の誘致促進 学術研究都市における教育研究機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出(小計) 9人 企業・研究機関進出件数 7件 海外大学 4研究室が活動を継続 交流協定締結数 83機関(累計) 外国人研究者 55人、留学生 463人 	<ul style="list-style-type: none"> アジア地域の大学との交流促進策の検討 留学生支援のための奨学金原資の減少 研究拠点化推進のための誘致策の検討 老朽化した設備、機器の更新 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出30人 *海外大学研究拠点件数5機関 *外国人研究員数61人 *留学生数500人 *学研都市年間人口3,100人 *企業・研究機関進出件数30人
地域活性化のための人材育成の強化	地域活性化のための人材育成の強化	<ul style="list-style-type: none"> セミナー等の企画・開催 <ul style="list-style-type: none"> →実学ナレッジセミナー(財務・営業) →事業継承セミナー、高度技術者養成講座 北九州市立大学におけるグローバル人材育成 <ul style="list-style-type: none"> →副専攻プログラム(グローバル教育)を文学部にも拡充 北九州市立大学の事務局体制の強化 まちなかESDセンターの運営、大学間連携による多様な教育の推進 北九州地域産業人材育成フォーラムとの連携推進 <ul style="list-style-type: none"> →地域連携型インターンシップの推進 →九州工業大学社会人ドクタープログラム、北九大MBAプログラムの活用 技能伝承推進事業 <ul style="list-style-type: none"> →中小企業向け「匠塾」の実施 →北九州マイスターによる中小企業への技能伝承活動支援 →高校生向けに「匠に学ぶ技能講習会」の実施 →高校での北九州技の達人の実演・講演 産業技術保存継承センター(KIGS)での教育プログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出(小計) 13人 セミナー等受講者数 194人 北九州市立大学におけるグローバル人材育成 27人履修 <ul style="list-style-type: none"> 新規雇用 4人 北九州市立大学の事務局体制強化 新規雇用 5人 まちなかESDセンターの運営等 新規雇用 4人 北九州地域産業人材育成フォーラムインターンシップ実施学生の市内企業への就職者数 9人、就職率32.1% 社会人プログラムの環境整備、大学連携による出前講義のシステム化 MBAサテライトフォーラムの実施、経営継承実践講座の開設など 技能伝承プログラム受講者数 13,659人 <ul style="list-style-type: none"> →「匠塾」受講者 20人 →北九州マイスターによる技能伝承活動支援受講者 78人 →「匠に学ぶ技能講習会」受講者 27人 →技の達人実演・講演受講者 70人 →KIGS教育プログラム参加者数 13,464人 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズに応じたセミナーの企画・実施 グローバル人材の地元企業とのマッチング まちなかESDセンターへの今後の支援のあり方 インターンシップ参加企業及び参加学生の拡大 産学連携の更なる基盤拡充と事業化 学校や企業などの利用者のニーズを踏まえた技能伝承プログラムの開発 	<ul style="list-style-type: none"> *市内中小企業の人材育成の支援受講者数600人 *雇用創出16人 *グローバル人材の育成150人 *インターンシップ参加学生の市内企業就職累計率25% *ものづくり技能・技術の継承受講者数計27,349人

方向性 I 地域企業が元気に活動し続ける環境整備 その3

リーディングプロジェクト	プロジェクトの柱	H25年度の実績	成果	課題	H27年度までの目標 (工程表作成時点)
充実した物流基盤を活用した物流振興	充実した物流基盤を活用した物流振興	<ul style="list-style-type: none"> 官民一体となったポートセールス活動による集貨・創貨の取り組み <ul style="list-style-type: none"> →内航フェリーセミナー開催(本市:参加者約150名) →北九州港セミナー開催(東京:参加者約500名) 新規航路(コンテナ、RORO、PCC)の誘致 企業訪問(船主、荷主等) 自動車運搬船等の就航に伴う貨物需要増加に対応するため航路の増深等物流環境の整備(新門司地区) <ul style="list-style-type: none"> →耐震強化岸壁(-7.5m)増設、航路(-10m)整備、泊地(-10m)整備 精密機械等の取扱い増加へ対応するため老朽化した岸壁の改良(田野浦地区) <ul style="list-style-type: none"> →岸壁(-9m)改良 北九州空港・・・大型機材による貨物定期便の誘致 道路整備による広域的な物流ネットワークの形成 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出(小計) 78人 *長距離フェリー3社が使用フェリー船舶12隻中8隻の新船舶への更新(投資額約450億円)を発表 *北九州港の精密機器輸出拠点化 <ul style="list-style-type: none"> →キャリムエンジニアリング株 ⇒クリーンルームの増設、精密機器専用船寄港回数的大幅増及び輸出貨量の増加。雇用創出数72人 *中古車の輸出拠点化 <ul style="list-style-type: none"> →新門司地区に中古車輸出事業者が進出 *新規コンテナ航路の就航(6月:KMTC(高麗海運株式会社)、8月:HASCO(上海海華輪船有限公司)) *北九州空港において、日本貨物航空株による定期便が就航 <ul style="list-style-type: none"> →仁川～北九州～成田、台湾桃園～北九州～成田 *貨物定期便就航に伴う航空関連事業者の新規雇用 6人 *東九州自動車道(苅田北九州IC～行橋IC)の供用 *国道3号黒崎バイパス春の町ランプにかかる都市計画変更手続きを完了 	<ul style="list-style-type: none"> *東九州自動車道開通及びフェリー大型化を契機とした集貨・創貨 *東九州道及び物流拠点化に係るPR強化 *荷主企業、輸送事業者等のニーズの把握 *臨海部産業用地の分譲促進強化 *燃料の高騰 *定期便の安定就航のためのさらなる集貨促進 *貨物量の増加に対応するための空港機能、空港施設の拡充 *着実な道路整備に向けた、事業の選択と集中 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出306人 *海上出入貨物取扱量:109百万t *海上コンテナ貨物取扱量:646千TEU *航空貨物取扱量30千t *対象道路整備率78%

参考資料

方向性Ⅱの雇用創出実績:369人

方向性Ⅱ 高付加価値ものづくりクラスター形成 その1

リーディングプロジェクト	プロジェクトの柱	H25年度の実績	成果	課題	H27年度までの目標(工程表作成時点)
次世代自動車産業の形成	次世代自動車(電気自動車(EV),燃料電池車(FCV),電気バス等)の工場(生産ライン)の新設	<ul style="list-style-type: none"> ・電気バス組立工場等立地に向けた誘致活動(ゼロエミッション交通システム実現) ・FCVの普及に向けた実証実験の推進及び水素ステーションの積極的な誘致 →FCVから家庭へ電力を供給する実証実験(ホンダ)、FCVバス走行実証実験(トヨタ)、FCV走行実証実験(トヨタ)、FCVから公共施設へ電力を供給する実証実験(ホンダ)、公道におけるガス欠対応のための水素充填実証実験(日本エアリアルキード) ・超小型モビリティの導入促進事業の実施 →門司港レトロ地区での観光レンタカー事業 →小倉南区での青色防犯パトロール・買い物支援等試行事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出(小計) 2人 ・響灘地区でのゼロエミッション交通システムの展開決定及び大型電気バスの営業運行開始 ・小倉北区高浜に設置される水素ステーション(岩谷産業)に対し、(社)次世代自動車振興センターから補助金交付が決定 ・国土交通省「超小型モビリティ導入促進事業」(3年間)採択、新規雇用2人 ・超小型モビリティの保安基準緩和(公道走行に係る規制緩和) →門司区・小倉北区・小倉南区での公道走行が可能になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロエミッション交通システムの完成(第二段、第三段)と運用の継続(5か年) ・ゼロエミッション交通システムを軸とした関連事業所の立地支援(電気バス輸入拠点、整備/組立拠点などをターゲットに)要望事項、進出条件等の把握 ・燃料電池自動車価格の低廉化 ・水素供給インフラ(水素ステーション)整備 ・超小型モビリティ導入促進事業に関し、客観的、定量的な導入効果の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出4人 ・FCV生産ラインのロードマップ完成 ・カーボン製電気バス組立工場及び関連施設の立地具体化 ・水素ステーション設置3箇所
	環境配慮型部品の供給基地の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代自動車に関連する1次部品メーカーの誘致 ・民間の部品メーカー向け賃貸工場への誘致 ・企業立地セミナー開催 ・パーツネット北九州での次世代自動車セミナー開催 ・カーエレクトロニクス分野の研究開発の推進 ・国、FAISプロジェクト等申請支援、研究会運営支援等 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出(小計) 147人 ・首都圏セミナー開催(106人参加)により、新規誘致案件開拓 ・民間デベロッパーが空港跡地産業団地で賃貸工場建設に着手 ・フロントガラス等の組立工場操業開始(H25.11)新規雇用26人 ・その他自動車部品メーカーの新規誘致、事業拡張による新規雇用121人 ・国、FAIS等プロジェクト申請支援 9件 ・研究会運営支援 6件、視察受入 230人 	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代自動車メーカーの洗い出し ・民間デベロッパーと協業した誘致活動 ・次世代自動車産業拠点化を支援する団体の組織化 ・パーツネット北九州のパワーアップ(新規参入、提案力向上) ・次世代自動車技術に関する地域企業と大学のマッチングの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出500人 ・誘致件数30件
	北部九州自動車産業アジア先進拠点推進構想の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・パーツネット北九州への加入促進 ・カーエレクトロニクス分野及び自動車ロボットの高度化知能化に向けた専門人材の育成 →連携大学院カーエレクトロニクスコース運営 →連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーツネット北九州会員数 86社 ・専門人材輩出数 66人 →連携大学院カーエレクトロニクスコース修了生 27人 →連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース修了生39人 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業への就職者数を増加させること 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出100人 ・会員数100社 ・新規ティア1会員5社 ・既存会員ティア1化3社 ・人材輩出195人 ・連携大学院就職者135人
ロボット産業拠点の形成	産業用ロボットの国内外シェアの拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市ロボット産業振興プラン策定 →産業用ロボットの国内外シェアの拡大(H27年までに県内ロボット製造業の出荷額を10%以上拡大) ⇒産業用ロボットの用途拡大 ⇒省エネ・省資源に寄与する産業用ロボットの国内外への展開 ⇒生産現場を担うものづくり人材の養成やロボット周辺装置の開発支援 →民生用ロボットの開発支援(H27年までに研究開発12件、実証実験6件の開発支援を実施) →地域企業のロボット導入支援(H27年までに18社にロボット導入) ・福岡県と連携した環境配慮型ロボット製品等開発支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット産業振興会議(事務局:福岡県・福岡市・本市)における「環境配慮型ロボット製品等開発支援事業」採択1件(北九州市関連) →テーマ名:船舶の燃費向上を目的とした船底清掃水中ロボットの実用化 ・参考情報 ・(株)安川電機本社にロボット新工場及び安川ロボットセンター設置 →3階建、延べ床面積 1万5700㎡ →行橋、中間市等7工場の生産設備を集約、生産性30%向上 →半導体・液晶パネルの搬送用ロボット生産 500台/月 →医療、食品分野向けロボットの製造 →新工場完成で本社は3工場体制、生産能力は2200台/月 →2015年には、3000台/月に高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発から事業化への展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内ロボット製造業の製造品出荷額10%以上拡大 ・環境配慮型ロボット製品開発支援件数6件
	民生用ロボットの開発支援～介護・生活支援ロボットの開発支援～	<ul style="list-style-type: none"> ・国、FAIS等プロジェクト獲得支援 ・ロボット開発に係る研究会の運営 ・医療・福祉・介護ロボット等実証実験支援 ・北九州市ロボット産業振興プラン検討会議開催 ・ロボットと共存するまち・北九州の都市ブランドの確立に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出(小計) 4人 ・国、FAIS等プロジェクト獲得支援数:9件 ・ロボット開発に係る研究会運営数:9件 ・医療・福祉・介護ロボット等実証実験支援数:4件 ・北九州市ロボット産業振興プラン策定 ・「ロボットと共存するまち・北九州」の確立に向けた取組 →水中ロボットフェスティバル開催 →ロボット産業マッチングフェア北九州開催 →連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース開設他 	<ul style="list-style-type: none"> ・開発から実証、導入まで一貫した支援体制の構築 ・ニーズとシーズのマッチング強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出20人 ・プロジェクト獲得支援12件 ・研究会運営 21件 ・介護福祉ロボット実証実験支援6件 ・専門人材輩出120人
	地域企業のロボット導入支援	<ul style="list-style-type: none"> ・産業用ロボット導入支援センター開設(H25.10.25) →ロボット導入、生産性向上に関する相談窓口設置 →専門家(2名)による現場診断・改善提案、ロボット導入に関する助言 →「ロボット道場」運営によるものづくり人材養成 →ロボット周辺装置の開発支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出(小計) 2人 ・ロボット導入企業数:3社(産業用ロボット導入支援補助金活用) ・(株)戸畑ターレット工作所:自動車部品新規製造ラインに導入 ・(株)陽和:フッ素樹脂の半導体関連部品新規製造ラインに導入 →八幡電気精工(株):インダクションモーター部品製造ラインのロボット更新 →起業支援型地域創出事業 →ロボット産業に参入するシステムインテグレータ企業の育成 →委託先企業1社、新規雇用2名 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業用ロボット導入ニーズ把握と導入企業の掘り起こし →どのような業種、製造工種が必要としているのか ・上記ニーズに適したロボットの開発支援など ・中小企業の生産性向上やロボット導入に当たっての課題解決支援(人材、コスト、費用対効果など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出20人 ・コスト削減実現企業18社 ・投資額2.7億円

方向性Ⅱ 高付加価値ものづくりクラスター形成 その2

リーディングプロジェクト	プロジェクトの柱	H25年度の実績	成果	課題	H27年度までの目標 (工程表作成時点)
豊富な実績等を活かした環境産業拠点の形成	次世代資源循環型産業拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・小型電子機器等の再資源化促進事業 →小型電子機器等のリサイクルを開始(H25.8) →使用済小型電子機器を回収、貴重な金属の再資源化 →近隣市町村を含め、資源の再資源化拡大・廃棄物減量化を推進 ・リチウムイオン電池リユース・リサイクル →企業:国補助等を活用し、技術開発等の実証を推進 →市:社会システム構築に向けた検討実施 ・環境未来技術開発助成事業 →新規性、独自性、実現性の高い環境技術への研究開発費の一部を助成 →事業化目前の研究開発を対象とした「事業化チャレンジ枠」を新設 →平成25年度採択件数:13件(うち事業化チャレンジ枠での採択分:2件) ・広域対象のPVシステム汎用リサイクル処理方法に関する研究開発 →(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構がFAISに委託 →投資額 平成22年度～平成26年度 5年間 総額5億円 	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州エコタウン視察者数100,643人(H25年度) ・小型電子機器等回収量 →本市回収量(H25年8月～H26年3月):85.6t ・リチウムイオン電池リユース・リサイクルシステム確立に向けた取組みが進展 ・環境未来技術開発助成の活用により、レアメタルリサイクルや省エネルギー化の推進など、本市環境産業の振興に向けた取組みが進展 ・低コスト汎用PVリサイクル一貫処理のパイロットプラントを市内設置、実証事業を開始 ・PVリサイクル輸送パレットの開発に新たに着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコタウン事業 →高度リサイクル技術の開発 →経済的価値の高いリサイクル製品への転換 →原材料の確保 ・小型電子機器等の再資源化促進事業 →市民への周知、近隣市町村の制度参加 ・リユース・リサイクルシステムの確立に向け、引き続き取組み継続が必要 ・広域対象のPVシステム汎用リサイクルの実用化検討、本格的な社会実験実施に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> * 雇用創出27人 * 小型電子機器等回収量800t * 事業化件数6件 * 水素ステーション設置3箇所
	環境配慮型製品・環境関連サービスの集積	<ul style="list-style-type: none"> ・環境未来技術開発助成事業 ・環境エレクトロニクス研究拠点化の推進 →ICSEADの研究体制強化と、産学官共同研究の推進 ・LEDアプリケーション創出協議会の運営と事業化支援 など 	<ul style="list-style-type: none"> * 雇用創出(小計) 25人<うち再掲 11人> ・スーパーアロイ(超合金)を原料としたリサイクル設備を増強し、レアメタルの生産を開始させたことによる雇用創出 4人 ・環境エレクトロニクス研究拠点化に係る研究体制と環境の強化 →ICSEAD協力研究員2人の任用 →産業技術総合研究所・九州工業大学・ICSEAD共同研究室 拡充 ・LEDアプリケーション創出協議会の商材化 雇用創出 19人 →事業化 4件 イーアイエス㈱⇒ベトナム・サイゴンブリッジへの橋梁照明導入 ㈱春日工作所他⇒若戸大橋での橋梁照明白点灯実証実験など →企業誘致:6件 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境エレクトロニクス分野での地域企業との連携体制の整備と共同研究の実施 ・半導体・エレクトロニクスを活用した更なる事業化の推進と、 新たなアプリケーションの創出 など 	<ul style="list-style-type: none"> * 雇用創出80人 * 誘致件数6件 * 新規立地企業数6社 * 事業化5件

※上記リーディングプロジェクト以外にも、素材・部材関連産業の立地により200人の新規雇用が創出されている

方向性Ⅲ 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興 その1

リーディングプロジェクト	プロジェクトの柱	H25年度の取組	成果	課題	H27年度までの目標(工程表作成時点)
高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進	高齢者の健康増進・長寿産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> いきいき健康・生活応援！新サービス創出事業 起業支援型地域雇用創出事業 健康・生活支援サービス等の課題解決型サービス産業創出事業 女性や若者等の雇用創出事業 北九州市健康・生活産業振興協議会の設立・開催 北九州市医歯工連携研究会の運営 医療・介護事業分野に向けた技術高度化推進事業 	<p>*雇用創出(小計) 41人</p> <ul style="list-style-type: none"> いきいき健康・生活応援！新サービス創出事業 <ul style="list-style-type: none"> 助成企業数: 3社、新規雇用: 11人 起業支援型地域雇用創出事業 <ul style="list-style-type: none"> 健康・生活支援サービス等の課題解決型サービス産業創出事業 <ul style="list-style-type: none"> 助成企業数: 4社、新規雇用: 13人 女性や若者等の雇用創出事業 <ul style="list-style-type: none"> 助成企業数: 4社、新規雇用: 17人 健康・生活産業振興協議会参加企業 のべ35社、50人 医療・介護分野参入に向けた技術高度化推進事業 助成: 4件 	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市健康・生活産業振興協議会の活性化 医療・介護分野の現場や利用者、製造販売メーカーのニーズ情報が不足 薬事法や倫理審査、安全基準等に関する知識・経験の不足 医療・介護施設等、実証実験の場を探すのが困難 開発コストの負担 	*雇用創出21人
	生活の質を支える生活支援ビジネスの振興	<ul style="list-style-type: none"> 訪問介護ヘルパー向け情報共有システムの開発及び介護事業者による検証 環境未来都市住宅リフォーム等促進事業 「高齢者の買い物環境」に係る基礎調査とワークショップ方式による計画づくり 買い物応援ネットワークの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 市内介護事業所での導入: 1社 タブレット端末を40名の全訪問ヘルパーに配布 住宅リフォーム等促進事業補助件数: 約1,270件、約1.9億円 買い物応援ネットワーク会議参加者数: 149人 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問介護ヘルパー向け情報共有システムの事業所へのPR 住宅自体の性能向上や、より多くの方に利用される制度設計 買い物支援が必要な地域と事業者・団体をつなぐ仕組みづくり 地域協働による買い物支援を定着させるための支援体制 地域活動の新たな担い手の育成 	<ul style="list-style-type: none"> *システム導入事業者: 11社 *高齢者が安心して買い物できる環境づくり *地域に密着した商業等の振興
にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充	産業観光、歴史的遺産、環境観光資源等を活用した集客促進	<ul style="list-style-type: none"> 近代化産業遺産群を活用したツアー実施の働きかけ 産業観光ガイド、工場夜景ナビゲータの育成 大都市圏プロモーションの実施 工場夜景観光の充実 環境観光受け入れ体制の整備 エコツアーの実施 エコツアーガイドの育成 旧大連航路上屋オープン、旧三宜楼公開 門司港駅工事見学デッキ開業 門司港レトロイルミネーションのリニューアル、門司港レトロまち歩き等のソフト充実着手 	<ul style="list-style-type: none"> 産業観光客数: 259,457人 環境観光客数: 1,908人 エコツアー参加者数: 約6,500人 ガイド等育成: のべ22人 旧大連航路上屋はオープンから3日間で10,000人を達成 見学デッキの開業により建設・建築業界の視察ツアーで370名来訪 NHK「ゆく年くる年」の誘致及び旧門司三井倶楽部など主要観光施設は12月以降対前年比平均104% 	<ul style="list-style-type: none"> パッケージ化の促進や、体験型メニューの充実 新たな協力事業所の開拓など受入体制の更なる充実 官民一体の協力体制の強化や、ツアー実施主体の確立・拡充 門司港駅保存修理工事がマイナスイメージとならないよう、観光施設やイベントなどを順次リニューアルし、観光客数や現状の観光地ステイタスを保持すること 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出11人 *観光客数 <ul style="list-style-type: none"> 産業観光: 50万人 環境観光: 8,700人 *観光客数 <ul style="list-style-type: none"> 門司港地区: 197.2万人
	まちなかのにぎわいづくり及び中心市街地活性化	<ul style="list-style-type: none"> 新規定期便を見越したチャーター便の誘致 新規路線の定着促進 リノベーションスクールの開催 一般受講者向け、不動産オーナー向け 漫画ミュージアムでの企画展、漫画スクール、集客イベントの開催 公共事業評価(2回目)を経てスタジアムの整備着手を表明 中心市街地活性化基本計画に基づく官民一体となったハード・ソフト両面にわたる取組の推進(小倉地区及び黒崎地区) 商店街空き店舗活用補助の拡充(H25.11) 改装費補助の新設(賃借料補助⇒賃借料補助又は改装費補助の選択制) 商店街関係者による講演会の開催 実践あきない塾の開催 資金繰りセミナー(7月) ネットショップ売上アップ塾9月～10月 全5回) ネットショップ経営者シンポジウム(11月) サイト製作依頼の方法を学ぶ(3月) LED等省エネ照明設備の設置を補助 イベント開催補助 	<p>*雇用創出(小計) 1,140人 うち再掲 20人></p> <ul style="list-style-type: none"> 国際チャーター便: 96便、国内チャーター便: 36便 空港利用者数: 1,387千人 航空関連会社の業容拡大に伴う新規雇用 102人 リノベーションスクール <ul style="list-style-type: none"> 一般受講者向け、2回 112名参加、不動産オーナー向け、2回、134人参加 リノベーションスクールで題材となった1物件がオープン 新規雇用 64人 漫画ミュージアム: 企画展6回、漫画製作教室等59回、集客イベント12回開催 スタジアムのPFI事業者公募開始 商店街への新規出店8件、新規雇用 20人 実践あきない塾受講者 延べ107名 LED等省エネ照明設備の設置補助 4件 イベント開催補助 19件(市の制度活用: 2件、国の制度活用: 17件) 黒崎地区中心市街地賑わい再生事業による、新規雇用 9人 大規模小売店舗の立地による新規雇用 848人 オフィス立地促進補助による新規雇用 54人 その他にぎわい関連施設等における新規雇用 43人 	<ul style="list-style-type: none"> 新規航空路線誘致の取組 チャーター便を実施するための航空機材の確保 リノベーション物件の事業化に時間が必要 経営支援のあり方の研究 市内商店街の若手事業者の掘り起こし 経営環境の変化に対応した(ニーズに合った)セミナーの研究 国や県の補助制度の活用による、より効果的な事業実施の支援 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出320人 *空港利用者数 1,500千人 *国際線チャーター100便 *国内線チャーター20便 *リノベーション事業化物件: 12件 *漫画ミュージアム年間来場者10万人以上 *スタジアムホームゲーム観客数 平均5,000人
	地元産品の6次産業化及び農工商連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化シンポジウム・研修会の開催、商談会への出展支援 農林漁業者と食品加工会社のマッチング 地産地消の推進、ブランド農林水産物のPR 塩蔵ワカメ加工施設整備への助成(馬島地区) 食品残さを活用した小倉牛生産の実証実験開始 食のブランド「滋味五州」における新商品開発、商談会出展支援 	<p>*雇用創出(小計) 27人</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元産品の商談成立: 1件 ブランド農林水産物の商標登録: 2品目 	<ul style="list-style-type: none"> 6次産品をはじめとした地元産品や滋味五州ブランドの知名度不足 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出27人 *商談成立件数5件 *直売所等販売額 45億円 *ブランド農林水産物6品目 *小倉牛生産頭数 120頭(単年度)

方向性Ⅲ 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興 その2

リーディングプロジェクト	プロジェクトの柱	H25年度取組	成果	課題	H27年度までの目標 (工程表作成時点)
	サービス産業の集積促進及び高付加価値化の推進	<ul style="list-style-type: none"> サービス産業の生産性向上に向けたセミナー実施及び人材育成、市内サービス産業事業者間のマッチングの場の提供 即戦力人材育成講座・研究会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市内サービス事業者へのマッチングの場の提供 即戦力人材育成講座・研究会事業参加者数：101人(10事業) 	<ul style="list-style-type: none"> サービス事業者経営者のネットワークや支援機関ネットワークの早期構築 地元IT企業のニーズを踏まえた講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出15人 *専門家派遣先の雇用創出10人 *累計受講者数300人
サービス産業の高付加価値化の推進及び情報通信産業の集積	北九州の特性を活かした情報通信関連産業拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> 在宅オペレータ就業支援事業 顧客サポート人材育成事業 既立地企業のセンター拡大支援 コンタクトセンターの新規立地 国内有数のディザスター・リカバリー拠点を狙ったPR活動 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出(小計)590人<うち再掲 15人> 在宅オペレータ:210人育成、148人修了 顧客サポート人材育成:新規雇用24人 既立地企業の業容拡大及びコンタクトセンター等の新規立地による雇用創出 566人 	<ul style="list-style-type: none"> 修了者の状況把握 募集期間を十分に確保するための計画的な実施 大規模(200坪以上)のオフィス物件の不足 既設センターとの密な情報交換による雇用状況の把握 ディザスター・リカバリー拠点、BCPの効果的なPR方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出1,135人 *コンタクトセンター12件誘致 *e-port売上254億円
情報コンテンツ産業及び情報サービス産業の創出・育成		<ul style="list-style-type: none"> 地域課題に対応したICTプロジェクトの推進 →介護ヘルパー向け支援システムの構築による介護事業者の効率化と利便性向上 →農業生産者の付加価値・生産性向上に向けた新たなICTサービスの創出 情報通信産業の担い手となるクリエイターの育成 インキュベーションスペース「fabbit」オープン 情報IT人材採用・育成支援事業(起業支援型地域雇用創造事業) 市内農林水産品の首都圏等での販売に係る鮮度保持物流システム構築事業(起業支援型地域雇用創造事業) 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出(小計)19人 地域課題に対応したICTプロジェクトの開発・実証・評価 →介護分野:訪問介護ヘルパー向け業務支援システムを開発・実証し、市内大手事業所に導入 新規雇用:1人 →農業分野:作付管理・生産収益見える化システムの評価検証 北九州デジタルクリエイターコンテスト応募者:225作品 「fabbit」入居企業による新規雇用 13人 情報IT人材採用・育成支援事業による新規雇用 2名 市内農林水産品を首都圏等で販売するための新規雇用 3名 	<ul style="list-style-type: none"> 介護分野:事業者への導入増を目指したPR活動の強化 農業分野:生産者の利益増、効率化を目指すシステムの研究 fabbitとの連携による受賞者へのインセンティブ検討 	<ul style="list-style-type: none"> *雇用創出64人 *新規プロジェクト3件 *事業化2件 *クリエイターの事業化支援3人

参考資料

方向性Ⅳの雇用創出実績：4人

方向性Ⅳ グローバル需要を取り込む海外ビジネス拠点の形成

リーディングプロジェクト	プロジェクトの柱	H25年度取組	成果	課題	H27年度までの目標(工程表作成時点)
アジアに貢献する都市インフラビジネスの展開	アジア低炭素化センターを核とした都市インフラビジネスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア低炭素化センターを中核とした事業可能性調査等の実施 ・グリーンシティ北九州モデルの構築とパッケージ型都市環境インフラの海外進出 ・OECDグリーンシティプログラム北九州レポート発表記念会議の開催 ・実践的環境人材育成拠点の形成 ・北九州市海外水ビジネス推進協議会を軸とした案件の受注及び案件形成活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出(小計)2人 ・新たなプロジェクトの採択 23件 ・地元企業による世界初のインドからの希少金属(レアメタル)を含む廃プリント基板類の輸入を開始 ・グリーンシティ輸出を推進する対象都市の方向性判明(ベトナム・ハイフォン市、タイの工業団地) ・OECDグリーンシティ・プログラム北九州レポート発表記念会議参加者 計300人(30カ国110人の外国人を含む) ・研修受入実績 993人(平成26年3月末時点) →新規雇用 2人(環境国際協力事業に携わる職員) ・海外水ビジネス案件 7件受注 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種プロジェクトの事業化支援 ・国の支援制度の更なる活用 ・案件形成に向けた基礎調査の実施、パイロット事業の実施検討 ・北九州レポート提言のグリーン成長政策への反映 ・相手国のニーズに則した国内研修内容の充実 ・海外水ビジネス展開における地元企業振興 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出22人+α ・事業開始都市4都市/年 ・研修受入数450人/年 ・具体的な案件受注
海外工場のサポート拠点の形成	市内工場のマザー工場化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・国内企業の実態調査、海外調査 →国内：東京、京都、新潟 →海外：インドネシア、タイ ・官民一体となったポートセールス活動 →内航フェリーセミナー開催(北九州市) →北九州港セミナー開催(東京) ・新規航路(コンテナ、RORO、PCC)の誘致 ・企業訪問(船主、荷主等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出(小計)72人うち再掲 72人 ・市内企業向け調査を受け、方向性が判明 ・長距離フェリー3社が使用フェリーを新船舶に更新 →12隻中8隻を更新、投資額約450億円 ・北九州港の精密機器・中古車輸出拠点化 →キャリムエンジニアリング(株)：クリーンルームの増設等による、輸出量の全国港湾シェアの上昇 →新門司地区に中古車輸出事業者が進出 ・新規コンテナ航路の就航 →6月：KMTC(高麗海運株式会社)、8月HASCO(上海海華輪船有限公司) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業の強みを活かす企業間連携、技術連携、人材育成プラットフォームのあり方 ・市内中小企業に対する信用力付与 ・人材育成の仕組みづくり ・東九州自動車道開通及びフェリーの大型化を契機とした集貨・創貨 ・東九州自動車道及び物流拠点化に係るPR強化 ・荷主企業、輸送事業者等のニーズ把握 ・臨海部産業用地の分譲促進強化 ・燃料の高騰 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流事業から技術相談等につながった件数：135件 ・新たな研究開発に取り組む企業支援 93社 ・グローバル人材育成50人 ・海上出入貨物取扱量109百万t ・海上コンテナ貨物取扱量：646TEU ・航空貨物取扱量30千t
	海外工場のサポート拠点化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・海外工場のサポート拠点化に関する調査・検討の実施 →市内企業のパッケージ化可能性に関するニーズ調査 →タイ王国鉄鋼業における市内企業の技術導入可能性調査 →検討会の開催(3回) →国内企業の実態調査 →海外調査(インドネシア、タイ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業のパッケージ化の方向性の明確化 ・タイ側との導入分野の方向性の明確化 →スラグ処理技術、鉄鋼処理技術 ・市内企業の保有技術、海外展開の意向などの明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージ化された企業の(海外)共同展開に向けた体制づくり ・タイの政情不安による協議の中断 ・市内企業の強みを活かす企業間連携、技術連携、人材育成プラットフォームのあり方 ・市内中小企業に対する信用力付与 ・人材育成の仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出30人 ・商談件数20件 ・海外からの受注件数3件
北九州発ブランドの海外ビジネス支援	中小製造業の海外ビジネス支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ブランド「MOZIDECO」の支援 ・海外見本市等出展助成事業の実施 ・海外進出成功事例集を作成 ・地域間交流支援事業(RIT事業)の推進 →韓国、慶尚南道・釜山広域市：機械部材・材料加工分野 →ベトナム、ハノイ市・ハイフォン市：金属加工・機械部品分野 ・パッケージ型販路拡大事業の推進【再掲】 ・中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業助成金の実施 ・KITセンターによる海外展開支援の推進 →貿易相談、セミナー開催、ミッション派遣等の実施 ・助成制度の拡充 →市場調査等や海外展開拠点設置の助成制度を追加 ・アジアキャラバンへの参加 →中国(上海・北京)・台湾(台北)・日本(東京)で開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出(小計)3人うち再掲 1人 ・各取組における商談・成約件数 →MOZIDECO：商談91件、成約3件 →RIT事業：韓国、商談51件、成約2件 ベトナム、商談136件、成約6件 →アジアキャラバン：商談83件、成約7件、新規雇用 3人 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業・制度の更なる広報手段の検討 →より多くの市内企業への周知 ・海外展開希望企業の掘り起こし →特に飲食・小売・サービス業分野 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出6人 ・商談件数200件 ・助成事業交付件数48件 ・成功事例閲覧回数1,000回
	飲食、小売、サービス業の海外ビジネス支援	<ul style="list-style-type: none"> ・助成制度の拡充 →市場調査等や海外展開拠点設置の助成制度を追加 ・アジアキャラバンへの参加 →中国(上海・北京)・台湾(台北)・日本(東京)で開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成制度 →市内企業への交付決定：22社 ・KIT相談件数 1,540件 →セミナー開催回数 63回 →ミッション派遣回数 20回 		<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出4人 ・KIT相談件数4,500件 ・セミナー開催回数150回 ・ミッション派遣回数45回 ・大連デスク・アジアキャラバン商談回数120件

参考資料

方向性Vの雇用創出実績:0人

方向性V 地域エネルギー拠点の形成 その1

リーディングプロジェクト	プロジェクトの柱	H25年度の取組	成果	課題	H27年度までの目標 (工程表作成時点)
省エネルギー (ネガワット)の推進	省エネ施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「北九州市地域エネルギー推進会議」の設置 →「火力発電立地検討部会」、「洋上風力発電立地検討部会」のWG設置 ・節電推進本部における取組 →「北九州市節電推進本部」を4回開催 →市役所の節電対策の推進 →市民向け節電対策の拡充 ・中小企業省エネ設備導入促進事業 ・環境産業融資 ・新エネルギー等設備の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所の立地、地域エネルギー会社の設立について方向性を検討 ・まちなか避暑地の参加店舗数:317店舗 ・ていたんシール配布枚数:30万枚 ・省エネ王コンテスト参加者数:900人 ・中小企業設備導入促進事業 →補助金交付件数:102件、市内直接投資額:4.8億円 ・環境産業融資 →新規融資件数:5件、融資実行額:567百万円 ・新エネルギー等設備の普及促進 →家庭用燃料電池設置補助件数:150件 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発電所の立地」、「地域エネルギー会社設立の準備・検討」の着実な実施 ・市民向け対策の更なる周知 ・助成・融資制度の更なる周知 ・新エネルギー設備の自立的な設置に向けた市民意識向上のための啓発 	<ul style="list-style-type: none"> * 市内直接投資額:15億円 * 省エネ:1,800千kWh * 融資件数:延30件 * 補助件数:延527件 * 経済波及効果:869百万円
	スマートコミュニティのビジネス化	<ul style="list-style-type: none"> ・東田地区におけるスマートコミュニティの研究開発・実証事業の継続実施 ・国内外からの幅広い視察受入 ・国、関係機関、企業との継続的な連携・情報交換 →地域企業へのアンケート実施 →商工会議所情報メディア部会との連携 ・技術研究組合北九州スマートコミュニティ推進機構(KSCoP)による調査・検証 →デマンドレスポンスのビジネス化 	<ul style="list-style-type: none"> ・20%のピークフットカット効果を確認 →各EMSの技術実証、ダイナミックプライシングの実証 ・本事業への関与が少なかった企業への周知 ・デマンドレスポンスを商品としたビジネスモデルの検討開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・IT関係企業の視察への参加促進 ・市内中小企業が関与できる分野、市場とのマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> * 雇用創出70人 * 市内企業によるスマートコミュニティ関連製品売上70億円
	市域全体へのスマート化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・「北九州市地域エネルギー推進会議」の設置 →「火力発電立地検討部会」、「洋上風力発電立地検討部会」のWG設置 ・城野ゼロ・カーボン先進街区の形成 →城野駅北土地区画整理事業の本格的工事着手 →UR都市機構(区画整理事業主体)が北九州病院と保留地の譲渡契約 →城野におけるエネルギー管理方針の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所の立地、地域エネルギー会社の設立について方向性を検討 ・城野ゼロカーボン街区の形成 →北九州病院の施設計画における省CO₂の取組が、国交省の住宅・建築物省CO₂先導事業に採択 →城野におけるエネルギー管理方針の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発電所の立地」、「地域エネルギー会社設立の準備・検討」の着実な実施 ・財務省の土地処分が行われる来年度以降に、エネルギー管理の事業主体の決定を予定 	<ul style="list-style-type: none"> * 整備戸数約100戸 * 入居人口約230人 * CO₂削減約270t-CO₂

方向性 V 地域エネルギー拠点の形成 その2

リーディングプロジェクト	プロジェクトの柱	H25年度取組	成果	課題	H27年度までの目標 (工程表作成時点)
再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成	再生可能エネルギーの立地促進	<ul style="list-style-type: none"> ・「北九州市地域エネルギー推進会議」の設置 →「火力発電立地検討部会」、「洋上風力発電立地検討部会」のWG設置 ・小水力発電の新規建設1箇所(門司区丸山) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所の立地、地域エネルギー会社の設立について方向性を検討 ・再生可能エネルギー(水力)の活用により、温室効果ガスであるCo2排出量を削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発電所の立地」、「地域エネルギー会社設立の準備・検討」の着実な実施 	<ul style="list-style-type: none"> * 地域エネルギーマネジメントの事業化 * 洋上風力発電・基幹発電の事業化
	基幹エネルギーの立地促進	<ul style="list-style-type: none"> ・「北九州市地域エネルギー推進会議」の設置 →「火力発電立地検討部会」、「洋上風力発電立地検討部会」のWG設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所の立地、地域エネルギー会社の設立について方向性を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発電所の立地」、「地域エネルギー会社設立の準備・検討」の着実な実施 	
	再生可能エネルギー産業の拠点化推進	<ul style="list-style-type: none"> ・関門海峡潮流発電の実証試験完了 ・水素タウンの実証試験継続 ・「響灘地区への風力発電関連産業の集積促進事業」公募を実施 ・グローバルウィンドデイ(風力発電施設見学会)開催 ・風力発電国際展示会WIND EXPOへの出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・関門海峡潮流発電実証試験データ取得等 ・水素タウンの実証試験の継続 ・「風力発電関連産業の集積促進事業」公募により、3グループ選定 →(株)北拓、ジャパン・リニューアブル・エナジー(株)、三菱重工業(株)、(株)安川電機 →一般社団法人 日本再生可能エネルギー推進機構 →自然電力(株)、juwi自然電力(株) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内風力発電の導入拡大(国内市場の拡大) ・早期の拠点形成 	<ul style="list-style-type: none"> * 雇用111人 * 誘致件数14件
	再生可能エネルギーの普及支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用燃料電池(エネファーム)設置補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用燃料電池(エネファーム)設置補助件数:150件 →市内導入件数:393件 →販売総額601百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立的な新エネルギー等設備の設置に向けた市民意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> * 延べ補助件数527件 * 経済波及効果869百万円
安定・安価で賢いエネルギー網の構築	安定して産業活動ができるようなエネルギー基盤の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・「北九州市地域エネルギー推進会議」の設置 →「火力発電立地検討部会」、「洋上風力発電立地検討部会」のWG設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所の立地、地域エネルギー会社の設立について方向性を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発電所の立地」、「地域エネルギー会社設立の準備・検討」の着実な実施 	<ul style="list-style-type: none"> * 地域エネルギーマネジメントの事業化 * 洋上風力発電・基幹発電の事業化
	地域のエネルギーインフラを最大限活用する最先端の産業コンビナートの構築				
	広域貢献するエネルギー網の環境整備				